

第90回日本学生氷上競技選手権(インカレ)アイスホッケー競技の開会式が24日、テクノルアイスパーク八戸で行われ、出場校の主将らが参加し、25日からの競技開始に向けて士気を高めた。

大会は29日まで。八戸市のテクノルアイスパーク八戸、田名部記念アリーナ、南部町のふくちアイスアリーナを舞台に、全43チームが熱戦を展開する。青森県からは、八戸学院大、八戸工大が会場。いずれも25日にふくちアイスアリーナで初戦を迎える。

八戸、南部会場 インカレIH

# 全43チームが激突

開会式では、日本学生氷上競技連盟の福田弥夫会長

が「母校の誇りを胸に熱戦を繰り広げてほしい」とあ

いさつ。地元の小林真市長は「厳しい練習の成果を発

## 八学大、八工大きよう初戦



選手宣誓をする明大の大場大主将。24日、テクノルアイスパーク八戸

揮し、優勝を目指して頑張る」と激励した。

出場校を代表し、昨年優勝校・明大の大場大主将が「最後まで諦めず、学生らしくプレーする」と宣誓。

開会式の後、八戸工大の田名部一希主将は「厳しい戦いになるが、1点でも多く取る」と意気込んでいる。

(金濱千優希)